

著者プロフィール

飯山 由貴 (いいやま・ゆき)

美術家。神奈川県小田原市生まれ。映像作品の制作と共に、記録物やテキストなどから構成されたインスタレーションを制作。過去の記録や人への取材を糸口に、個人と社会および歴史との相互関係を考察する。近年は多様な背景を持つ市民や支援者、アーティスト、専門家と協力し制作を行っている。

板垣 竜太 (いたがき・りゅうた)

同志社大学社会学部教員。専門は、朝鮮近現代社会史、文化人類学。主著に『北に渡った言語学者：金壽卿 1918-2000』（人文書院 2021）、『朝鮮近代の歴史民族史：慶北尚州の植民地経験』（明石書店 2008）、共編著に『東アジアの記憶の場』（河出書房新社 2011）などがある。

菅野 優香 (かんの・ゆうか)

同志社大学教員。専門は、映画・視覚文化研究、クィア・スタディーズ。著作に『クィア・シネマ 世界と時間に別の仕方 で存在するために』（フィルムアート社）、『クィア・シネマ・スタディーズ』（編著、晃洋書房）、アン・ツヴェッコヴィッチ『感情のアーカイヴ トラウマ、セクシュアリティ、レズビアン の公的文化』（監訳、花伝社）など。

北原 恵 (きたはら・めぐみ)

大阪大学元教員。専門は表象文化論、美術史、ジェンダー論。女性アーティストや戦争画・国家・天皇の表象を研究。著作に『アート・アクティヴィズム』『攪乱分子@境界』（インパクト出版会）、『アジアの女性身体はいかに描かれたか：視覚表象と戦争の記憶』編著（青弓社）他。1994年から「アート・アクティヴィズム」を連載中。

鄭 暎恵 (ちょん・よんへ、JUNG, Yeonghae)

社会学者。大学を退職しカナダに留学。アイデンティティの政治、ポストコロナル・フェミニズム、構造的暴力と PTSD 等の研究。主著は『民が代斉唱』（岩波書店）、『私という旅』（青土社）、在日家族と世代間伝達トラウマ（抗路第8号）、Sexual Violence (*Handbook of Feminisms in Japan*) など。

FUNI (ふに)

Rapper・詩人。神奈川県川崎市生まれ。2002年ラップユニット「KP (Korean Power, Korean Pride)」結成。現在はライブ活動のほか、大学、少年院、朝鮮学校、識字学級などで自分のおもいを声にするラップワークショップを実施している。

※本書掲載の写真

○写真：金川 晋吾

本扉の裏：2021年3月15日、患者 A さんの診療録（一般財団法人小峰研究所）

8頁：2021年12月8日、川崎港海底トンネル

108頁：2023年9月1日、東京都庁の路上デモ行進

110頁：2023年9月1日、新宿中央公園水の広場でのダイ・イン

215頁：2021年12月8日、FUNI の手とスケッチブック

○写真：川村 麻純

106-107頁：2022年、展示風景「飯山由貴：あなたの本当の家を探しに行く」東京都人権プラザ

※本書およびそのもとになったシンポジウムは、下記の助成を受けた。

○同志社大学フェミニスト・ジェンダー・セクシュアリティ研究センター（FGSS）

○同志社大学都市共生研究センター（MICCS）グローバル地中海地域研究プロジェクト

○同志社コリア研究センター

○JSPS 科研費20K00127

同志社コリア研究叢書6

飯山由貴《In-Mates》の上映禁止が問いかけるもの：
検閲／コロニアリズム／ジェンダー

発行日 2025年3月1日 初版

編者 同志社大学《In-Mates》
シンポジウム実行委員会 編

発行者 同志社コリア研究センター
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL & FAX 075-251-3868
ホームページ <http://do-cks.net/>
e-mail rc-korea@mail.doshisha.ac.jp

表紙・字幕頁デザイン 尾中 俊介（Calamari Inc.）

印刷 有限会社 木村桂文社

ISBN 978-4-907634-06-3

本書の電子版は同志社大学学術リポジトリ (<https://library.doshisha.ac.jp/ir/>) で読めます。

ISBN 978-4-907634-06-3

[発行] 同志社コリア研究センター

In-Mates